

日本 LCA 学会企画委員会によるサービス学会とのコラボ企画『サービサイジング』

オーガナイザー：日本 LCA 学会企画委員会 委員 永野友子（所属 富士通株式会社）

■ セッションの趣旨

昨今、デジタル化の普及と共にシェアリングによるモノの使い方・消費行動・働き方における価値観の変化、そしてサーキュラーエコノミーという経済システムの変化が顕著になってきた。また、SDGs 採択以来、持続可能性に関する関心も急速に高まり、市場経済と持続可能性の関係性は大きく変化している。この背景の下、日本 LCA 学会・企画委員会は、サービス化や持続可能性を軸に、様々な講演会を企画して LCA の課題や期待を社会に問うてきた。その中で、具体的な研究課題として落とし込み実践に繋げてほしいとの声が多くあり、LCA の発展に期待が高まっていることがわかってきた。そこで、サービサイジングをテーマにユーザーの消費スタイル変化に伴う LCA の具体的な研究課題の抽出と共有を目的に、サービス学会とコラボセッションを開催する。なお、本企画は、サービスの「使用」に着目したサービスシステムや Well-being の研究に強いサービス学会との初のコラボ企画である。

本セッションでは、前半に両学会から話題提供を行い、後半のパネルディスカッションでは、サービス化に伴う評価範囲や機能単位の設定等の検討課題について議論する。サービス化が加速する社会において、顧客に価値を訴求するアプローチとして LCA を効果的に活用するにはどうしたらよいか、LCA を実務で取り組む企業の方や、シェアリングなどサービスに関心のある参加者の皆さんと、サステナビリティの観点から一緒に考えたい。

■ プログラム：

1. セッションの趣旨説明

15:00-15:10 LCA 学会 永野友子 (富士通)

2. 話題提供

15:10-15:20 サービス学会 木見田康治 (首都大学東京)

15:20-15:30 サービス学会 ホー・バック (東京大学)

15:30-15:40 LCA 学会 天沢逸里 (東京大学)

15:40-15:50 LCA 学会 金澤智尚 (日立建機)

3. パネルディスカッション

15:50-16:20 座長 田原聖隆 (産業技術総合研究所) (予定)

■ 講演内容

講演者（所属）：タイトル	内容
木見田康治（首都大学東京）： 「製造業のサービス化とサステナビリティ」	近年、製造業が製品機能をサービスとして提供する「製造業のサービス化」が注目を集めている。本講演では、製造業のサービス化が企業や顧客に対する価値を高めるだけでなく、環境負荷の削減に対しても有効な手段であることを解説する。
ホー・バック（東京大学）： 「サービス視点で見る Human Well-Being」	サービス研究で最も広く活用されている理論的レンズであるサービス・ドミナント・ロジックを概説し、その視点から人間の Well-Being を捉えるサービス研究について紹介する。
天沢逸里（東京大学）： 「ライフサイクル思考に基づくサービス化の評価」	製品とサービスが複雑に結合するシステムであるサービス化は、従来の製品 LCA とは異なる捉え方で評価する必要がある。本発表では、複数事例を通して、サービス化を LCA に基づき評価する際に検討すべき事項を議論する。
金澤智尚（日立建機株式会社）： 「建設機械のサービスおよび再生事業と LCA」	建設機械業界では、アフターサービスの向上が顧客満足度に直結している。今回の報告では、再生事業を中心としたサービスの事例と LCA について紹介する。

■ 参考：サービサイジングと持続可能性に関して、これまで企画委員会が企画したイベントを以下に示す。

- ・ 2017 年度：参加型討論会「持続可能な生産と消費について」2 回開催
- ・ 2018 年 7 月：講演会「サービス価値と持続可能性」（サービス学会と共催）
- ・ 2018 年 12 月：ワークショップ「モノからコトへ移行する世界での LCA 評価を考える」
- ・ 2019 年 7 月：講演会「LCA の過去と未来～持続可能な社会の構築に向けて果たすべき役割～(学会設立 15 周年記念)」

https://www.jstage.jst.go.jp/article/lca/15/4/15_378/article-char/ja